



平成30年6月27日
 京都市子ども若者はぐくみ局
 (担当 子ども若者未来部育成推進課 748-0016)
 公益財団法人京都市ユースサービス協会
 (担当 子ども・若者支援室 708-5430)

平成30年度NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業の採択について

京都市子ども・若者指定支援機関である公益財団法人京都市ユースサービス協会では、NPO等の民間団体が実施する子ども・若者の社会的自立に資する事業を支援しています。

この度、「平成30年度NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業」に応募された特定非営利活動法人その他の団体の事業について、下記のとおり助成対象として採択しましたので、お知らせします。

記

採択事業の概要

団体名	事業名 (事業種別)	事業概要
エイドネット cafe	エイドネット cafe ・不登校、ひきこもりの方の社会復帰のための学び直しサポート事業 ・不登校、ひきこもりの方のご家族のためのサポート事業 ・交流イベント、セミナー事業 (ピア交流)	エイドネット cafe (通常活動27回, 屋外交流イベント2回, セミナー16回) 月2回2時間程, 自習スペースを確保・開放し, 常勤職員や専門性の高い外部ボランティアによる「学び直し」を通して, 自己発見し復学・就労など一人ひとりに合った社会復帰につなげるとともに, 家族の理解を深める。各世代のピアサポーターやボランティアを募る。 参加者同士のコミュニケーションや講師の話題提供により気づきを促し, 「社会に貢献している」「人の役に立った」「自分とは違う考えがあることを知る」という経験を取り入れ, 自己肯定感の再構築を積極的に促していく。
特定非営利活動法人 京都ARU	プログラムのブラッシュアップ事業 (ピア交流)	羊毛フェルト (全12回), 太極拳 (全12回) 等 ひきこもり状態を脱しようとする者や経験した者が集まり, 参加者間の交流を通じて緊張をほぐしながら対人関係を構築し, 継続的なプログラム参加により少しでも自己を理解し肯定できるようになり, 一般社会へつながる力を身につけることを目標とする。

団体名	事業名（事業種別）	事業概要
特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター	「歩」プロジェクト事業(あゆむプロジェクト) (ピア交流)	定期的実施活動（５３回以上） 「学食 walk」や「健康体操教室」等，年間を通して繰り返し実施。一部はミーティングを実施し，参加者が意見を出して決定するというこも学びとして踏まえた活動とする。 単発実施活動（４０回以上） 動こうとするきっかけをいろいろな形で提案し，少しでも多くの人があひとつでも気になって参加してみようと思えるように，飲食中心の交流活動から他団体イベントの参加，社会活動，行事への参加等を実施し，本人が社会の中で生きていく力につなげていく。
特定非営利活動法人 恒河沙母親の会	ピア交流事業(居場所事業) (ピア交流)	プログラミング教室，焚き火体験等（全２３回） ニート，ひきこもり等，社会との接点を失いつつある若者に対して，自宅以外で安心して過ごせる「居場所」の提供を行うとともに，お互いに気持ちを共有しながらチームとして活動し体験することで，地域社会との接点や地域社会の輪に入っていくことを目指す。
社会福祉法人京都老人福祉協会 ワークパートナーYUI	安心ジョブチャレンジ事業 (安心ジョブチャレンジ)	安心ジョブチャレンジ事業（全１５０回） ひきこもり経験を有する若者，働くことへ自信が持てない方等を対象に，農園作業，清掃作業，厨房作業，リネン作業及び軽作業のいずれかを選択したうえで，高齢者施設と障がい者が働く事業所を拠点に取り組むことで，当該施設の利用者の方々等との関わりを持っていただき，コミュニケーション力の向上を養う。
特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会	「アート・プロダクションV」～あなたの作品を製品に～ (安心ジョブチャレンジ)	イラスト作品の製品化，展示販売イベント等 ひきこもり経験等による社会から孤立しがちな若者を対象に，イラスト作品等の製品化，企画，販売について，専門家の指導に基づき参加者同士のグループ作業による実務体験を行い，就労訓練・体験・スキルアップ・成功体験を目指す。 また，地域の多様な世代を対象としたワークショップを開催し，地域交流を図るとともに，京都の歴史・文化を学ぶ。
東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」“シオンの家”	封入作業と交流会～社会参加へのスモールステップ～ (社会体験活動)	京都市ボランティアセンターが発行する月刊機関紙等発送の封入作業及び作業への振返りと交流。（１１回） 社会参加が困難な若者の自宅以外の最初に参加できる居場所として，作業というプログラムがあることで，会話が苦手な方でも安心してコミュニケーション中心の居場所に参加してもらう。また，軽作業ではあるが仕事へのイメージが持てる効果や自尊感情の向上も期待される。

(参考)

「NPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業」は、社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者を支援する特定非営利活動法人その他の団体の実施する社会的自立に資する事業について、助成を行っています。

・募集期間 : 平成30年4月1日～4月21日

・選考委員会（面接審査）：平成30年5月22日

	氏名	職名等
委員長	小野 恵以子	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 地域福祉推進室生活支援部担当部長
委員	松山 廉	公益財団法人京都市ユースサービス協会 事務局次長
	上田 廣久	京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部長
	村松 真理子	地域若者サポーター（登録サポーター）
	藪田 博司	公益財団法人京都市ユースサービス協会 子ども・若者支援事業統括

・事業実施：平成31年3月31日まで